



理事長 大出 重光

【ごあいさつ】

皆さま方には、平素より当金庫に対して格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
金庫の業務内容、業況等について一層のご理解を深めていただきたく、本冊子を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて令和5年度の国内経済は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴う経済活動の正常化を背景に緩やかな回復となりました。一方、企業業績は好調なもの、個人消費や設備投資はやや力強さを欠く状況にあります。また、金融市場では、日経平均株価が34年ぶりに史上最高値を更新した他、日本銀行が17年ぶりにマイナス金利を解除するなど歴史的なイベントが起きました。

令和6年度は、昨年同様の高い賃金上昇率に加え、インフレ圧力の低下も相まって堅調に推移することが予想されます。また、30年近く続くデフレからの脱却に向けた経済社会の変革が景気回復に貢献すると考えられます。但し、米中関係の悪化や米大統領選の動向、金融政策の変更による影響などには十分注意する必要があります。

このような経済情勢の中、当金庫は中小企業への安定的な資金提供や、お取引先企業に対する各種経営支援といった使命を果たすべく、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでまいりました。

令和5年度の当金庫の業績は、積極的な店舗展開をすすめたことやキャンペーン定期預金が好評を得たことなどから、預金積金残高は1兆6,737億円となり、貸出金残高については6,868億円となりました。

収益面では、有価証券運用益等の増加も寄与し当期純利益は118億円となりました。

また、金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率は14.08%と引き続き高い経営の健全性を維持しております。

令和6年度から新中期経営計画『夢・愛・熱「未来への挑戦」』をスタートさせました。

計画の初年度となる令和6年度は、「お客様との深い対話」「地域社会との連携強化」を実行していきます。「相互扶助」の理念のもと、地域の皆さまに寄り添い、地域の発展・幸福に貢献することを目指して役職員一丸となり努力を重ねていく所存でございます。今後もより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月
理事長 大出 重光